

若宮御行始

天治二八廿五、若宮○親王重仁渡御二條殿、御車等、遠江守宗章朝臣、調獻唐御車、以青色糸付房、簾等皆青色也。

〔桃華藻葉〕一車事

唐庇晴時召之

上葺檜榔廂并腰總同立板外、綵色同內、押綾畫唐袖外、綵物見落、入外御簾形、簾蘇芳編、縫錦、簾緒、緣錦、裏紫綾、下張、  
白散薄紙小簾四枚蘇芳編、縫錦、縫縫、緣懸緒、以下同上、上廂結、絹御榻簾足入角、有三下簾、總黃金物、下簾蘇芳編、縫錦、縫縫、緣、以三色通蘇芳在木入金物、或普鞞、連著有總、綱打交唐綱志部、或白如常、晴時上葺并廂總件總或用紫未濃、等用白絲、其上打金物、丸袖以金銅透之、立板外打金物付風流居玉。

〔海人藻芥〕車之事

唐車、飾車、糸毛車、賀茂祭日、典侍乘之、渡一條大路也。唐庇車、仙院、或親王、或執柄被召之。

〔三條家裝束抄坤〕車

唐車

太上天皇、皇后、東宮等、用ヒラル、ナリ、又攝政關白乗用ス、古ハ太上天皇、攝關ノ外、他人乗用ナキカ、元永二年二月廿二日、中宮御方達ノ行啓ニ、糸毛車イマダ出來ズ、唐車ヲ用ラルベキ哉ノ由御問ノ時、中御門右大臣雅實源申テ云、唐車ヲ用ラルハ、院并ニ執柄用ヒラル所也、后宮ニヲイテハ、終ニ例ヲミズト云々右府ノ舊記ニ見ヘタリ。

上皇乘御

大治五年十二月二十六日、此タビ院、三條西ノ御所修理後、初テ渡御、唐車ニ乘御、

一建久九年二月四日、上皇鳥羽後八幡御幸ニ唐車ニ乘御、